


⑦ 移動困難者を活動場所等へ移動・送迎支援するネットワーク構築活動

メンバー	実施者 ：特定非営利活動法人 八王子共生社会推進会議（もやい） 連携団体 ：八王子市社会福祉協議会、桜美林大学 島津淳 健康福祉学群 社会福祉専修 教授、NPO法人 全国移動サービスネットワーク、数井クリニック、NPO法人 ケアセンター八王子、医療経済研究機構 服部真治 主任研究員、八王子市福祉部高齢いきいき課	対象地域 ：東京都八王子市全域 人口 ：56,1000人 高齢化率 ：26.7%、 世帯数 ：25,300
活動目的	高齢化社会を地域の力で支えるための移動・送迎支援環境を整備する。町会・自治会を中心とした地域の生活支援組織（八王子市から訪問型サービスBの補助を受けている31団体）に働きかけ、ボランティア運転者向けの講習会を行い活動人材の育成を行う。また、もやいが所有する車両（リース車両2台）を無償で貸与し、移動・送迎支援活動を行って貰うとともに、活動団体のネットワークを構築し、移動・送迎支援活動の活性化を目指す。	

取り組み内容

キーワード：高齢者／移動困難者／ボランティア運転者／運転者講習／車両による送迎／安心・安全の活動

- ① ボランティア運転者向け講習会による活動員の人材育成
- ② 移動困難者の移動・送迎支援活動を行う生活支援団体へ送迎用車両の無償貸与
- ③ 八王子市が計画中の短期集中予防サービス（通所サービスC）のモデル事業の実施

2020年度の活動実績

- ・ 移動・送迎支援センターを設置し、送迎活動の支援を実施（運行回数 1,110回）
- ・ 移動・送迎支援を実施する団体管理者向け講習 1回及び実務運転者向け講習 2回（2団体）で12人育成した（もやいは国交大臣認定講習を行う資格を持っている）
- ・ 八王子市や第2層生活支援コーディネーターと連携し活動を行った。また八王子市の第8期介護保険事業計画策定に向けて、移動・送迎支援の意義や中間支援の必要性を学ぶ勉強会を開催（1回）した。



取り組みが地域に与えた影響

- ・ 以前より高齢者の移動・送迎支援のニーズが高かったが、具体的な活動まで発展させるには安心・安全の確保が必要であり、活動には多くのリスクがあった。このプロジェクトでは移動・送迎支援センターが設置され、組織的に講習会などで「安心・安全」を強く働きかけた。2団体が説明会に参加し、実際に2団体が活動を始めた。
- ・ 2020年度は新型コロナ問題で活動が自粛される中、地域住民の通院・買い物などの要請が強く、運行回数は昨年比50%ほど増加した。（通所サービスCの回数は除く）
- ・ 八王子市とは介護予防事業（通所サービスC）についてその送迎をモデル事業として456回の送迎を行い、2021年度は市の正式な事業として開始されることとなった。

取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

高齢者の移動に関するニーズは高いが、ボランティア運転者や車両の確保が難しいこと、さらに安心・安全を考慮すると、具体的に実施することはかなりハードルが高いことを実感した。条件を整備し気軽に参加してもらうと同時に、安心・安全の確保に対する意識が醸成されるよう、各団体に繰り返しはたらきかけを行っていく必要がある。

専門家コメント_移動ネット

もやいは、生活支援組織や、社会福祉協議会（第2層SC）と積み上げてきた関係を活かし、移動・送迎支援の実施団体や担い手を少しずつ増やしてきた。さらに広げるためには、車両やボランティア運転者の確保、立ち上げのノウハウ提供など細やかな支援が必要である。2021年度は市が、全国に先駆けて移動支援コーディネーターを配置し、もやいがこれを受託した。市との協働により中間支援組織の力が発揮されることを期待したい。